

18 広報関係

(1) プレスリリース（平成24年度）

組織名 年月日	プレスリリースの内容
育種 センター H25. 3. 21	タイトル 遺伝子組換えによりスギ花粉形成を抑制する技術を開発 遺伝子組換えにより、花粉のできないスギを作成する技術を開発したことをプレスリリースした。 （要旨） RNA分解酵素（バルナーゼ）遺伝子をスギに導入し、タペート層と呼ばれる花粉を取り囲んでいる組織で発現させることによりスギの花粉形成を抑制する技術を開発し、本技術を用いて作製した遺伝子組換えスギに着花を促進するジベレリン処理を行い、花粉を形成しないことを実験的に検証した。
東 北 育種場 H24. 5. 9	タイトル 高田松原の松の苗木を地元「高田松原を守る会」に引継ぎ 高田松原の実生苗300本を「高田松原を守る会」へ引継ぎすることをプレスリリースした。 （要旨） 東日本大震災以前の平成22年10月頃に、住田町にお住まいの方が高田松原で集めていた松ぼっくりから採取した種子より育苗された苗木300本について、「高田松原を守る会」から自らの力で育てたいとの要望を受け、5月12日に引き継いだ。
関 西 育種場 H24. 7. 10	タイトル：森林とのふれあい2012 関西育種場・一般公開 一般公開行事「森林とのふれあい2012」の開催予定についてプレスリリースした。 （要旨） 一般公開行事「森林とのふれあい2012」について、日時、場所及び内容等の開催案内を行った。
関 西 育種場 H25. 2. 5	タイトル：高知県の名木「神谷の白花センダン」の後継樹を中学生が卒業記念で植樹（2月12日） 林木遺伝子銀行110番で増殖、育成した苗木の里帰りについてプレスリリースした。 （要旨） 「神谷の白花センダン」（いの町指定文化財）は、樹勢が衰えてきたことから平成23年に高知県の町教育委員会から関西育種場に増殖の要請があり、同年冬に親木から枝（穂木）を採取し、つぎ木により増殖を試みてきた。その後増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みがついたことから、いの町に「里帰り」させることとなった。
関 西 育種場 H25. 2. 7	タイトル：名張市指定天然記念物「延寿院の枝垂桜」の後継樹苗木が里帰り 林木遺伝子銀行110番で増殖、育成した苗木の里帰りについてプレスリリースした。 （要旨） 「延寿院の枝垂桜」は、名張市指定天然記念物に指定されており、春には毎年綺麗な花を咲かせていたが、長年厳しい風雪に耐えた老木で幹の腐朽が進行していた。 こうした状況の中、関係者の間でこの貴重な遺伝資源を長く後世に残したいとの要望があり、平成23年に延寿院から関西育種場に増殖の要請があったことから、翌年冬に親木から枝（穂木）を採取し、つぎ木により増殖を試みてきた。その後増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みがついたことから、延寿院に「里帰り」させることとなった。
関 西 育種場 H25. 3. 6	タイトル：京都御苑への「近衛邸の糸桜」、「市原虎の尾」の里帰り 林木遺伝子銀行110番で増殖、育成した苗木の里帰りについてプレスリリースした。 （要旨） 京都御苑内には歴史的に貴重な樹木が多く残されており、その中で「近衛邸の糸桜（八重紅・白一重）」及び「市原虎の尾」は樹勢が衰えてきているため、京都御苑管理事務所から関西育種場に増殖の要請があった。 関西育種場は、「近衛邸の糸桜（八重紅・白一重）」及び「市原虎の尾」が貴重な樹木であることから、親木から枝（穂木）を採取し、つぎ木により増殖を試みてきた。その後増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みとなったことから、京都御苑に「里帰り」させることとなった。
九 州 育種場 H24. 11. 19	タイトル 地元地域と手を携えて 絶滅危惧種ヤクタネゴヨウを守る取り組みを開始ー熊本うまれのヤクタネゴヨウの子供たちが屋久島へ里帰りー 九州育種場で増殖し育ててきた苗木を里帰りさせることをプレスリリースした。 （要旨） ヤクタネゴヨウは、レッドリストで絶滅危惧IB類（EN）とされており、生息地では壮齢・老齢木の減少が著しく、次の世代を担う若い個体もほとんど見られないことから長期的視点に立った種の保存のための研究と得られた知見に基づいた保全策が必要とされている。 今回の里帰りを皮切りに、様々な人工交配組み合わせで増やされた苗木について、屋久島の自生地外での適応性等を把握するための共同調査・研究が開始される。共同研究のパートナーは、屋久島町や現地のNGOである「屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊」である。 一部の苗木は11月24日に屋久島町の5周年記念事業の一環として記念植樹される予定である。